

時は近未来より少し昔の「ちきゅう」。各地で都市開発計画が進み、それに伴いトイレも文字通り明るくなっていき加えて人々も忙しくなり、怪異の入る隙間も隙間もなくなっていた。気まぐれで始めた呪いの動画配信をしてギリギリ存在を保っていた「ハナコ」だったが、ある日異世界「エリディル」の「ユグドラシルネットワーク」にアクセスしてしまった。好奇心の赴くまま「ハナコ」は「ちきゅう」から逃げるように自身データ化して「ユグドラシルネットワーク」に飛び込んだ。「ユグドラシルネットワーク」を好けると、そこは異世界「エリディル」の錬金術の街「カナン」の「永眠ホテル」だった。

ハナコ

[illegible][illegible]